

岐阜県経済の現状のポイント（平成 26 年 4 月分）

【景況感】

景気は緩やかに回復している。

【製造業】生産、売上は、輸送用機械関連を中心に改善

○製造業全体では、輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持している。

【地場産業】一部の業種を除いて厳しい状況が続いている

○木工では住宅着工増により好調な状況が続いているが、他の業種については依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

【消費】消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動が見られる

○消費増税の駆け込み需要の反動が見られるが、大型店では保蔵可能な食料品・日用品、生活雑貨や化粧品等を除き、客足、売上とも回復基調にあり、想定範囲内にとどまっている。

○家電については、白物家電を中心に売上が大きく減少した。

【観光】インバウンドは台湾や香港、東南アジアが引き続き好調

○施設によってバラつきはあるものの、宿泊客数は総じて前年をやや上回る模様。GW は後半に予約が集中している。インバウンドは台湾やアセアンが引き続き好調。

【雇用】業務量が増加し人手不足が発生している企業がある

○特に、製造業で、生産量の増加に伴い人材の確保に努める企業が多数見受けられる。派遣会社に対しては企業からの派遣要望が高い状況が続いている

【設備投資】設備投資意欲が増加し、実績も増加傾向

○設備投資の理由のうち「補修・更新」といったやむを得ない理由が減少し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が増加し、投資実績全体も増加している。設備投資意欲DIは、改善傾向が続いている。

【資金繰り】資金貸付実績に下げ止まりの兆し

○企業の資金繰りは、横ばい状態が続いており、新規借入れ需要は低調だが下げ止まりの兆しが感じられる。